

和歌山縣報

第九百十五號

明治四十二年十月三日

○訓令

和歌山縣訓令第二十五號

郡役所

市役所

縣立學校

私立學校

學校生徒ノ飲酒ハ教育上取締ヲ要スヘキハ言ナ俟タス從來各學校ニ於テモ常ニ適當ノ方法ヲ講シ
テ訓戒監督ヲ怠ラサル所ナルヘント雖訓育ノ目的ヲ貫徹セント欲セハ學校ト家庭ト常ニ聯絡ナ保
チシコトヲ要ス因テ各學校ニ於テハ自今飲酒ノ取締ニ就キ一層家庭ト聯絡ヲ保ツコトニ注意シ以
テ教育ノ効果ヲ完フセンコトヲ努ムヘシ

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事 川上親晴

○和歌山縣訓令第二十六號

郡役所

和歌山縣報 第九一五號

明治四十二年十月三日

(明治三十三年五月八日三種郵便物認可)

一

市町村立小學校 市役所

學校教育ノ要ハ其ノ内容ニ在リテ外觀ニ存セス故ニ校舍ハ質朴堅牢ヲ旨トシ必シモ體裁ノ完美ヲ欲セス教授上衛生上其ノ宜シキニ適セシメソコトヲ要ス特ニ戊申詔書ノ煥發セラレシヨリ教育ノ局ニ當ル者ハ善ク聖旨ヲ奉戴シテ力ヲ之カ實行ニ盡シツ、アルハ信シテ疑ハサル所ナリト雖義務年限ノ延長ト學齡兒童ノ增加トニ伴ヒ尙未タ校舍ノ建築ヲ要スルモノ多キ今日ニ方リテハ特ニ意チ用ヒ學校ノ施設ヲシテ土地ノ情況ニ應シ經費ノ許ス範圍ニ於テ適當ノ經營ヲ爲サシメソコトヲ要ス若夫レ徒ニ外觀ノ美ヲ裝ヒ若ハ妄リニ費用ヲ節シテ粗雜ナル校舍ヲ建築スルカ如キハ華ナ去リ實ニ就ク所以ノ道ニアラス宜シク土地ノ情況ヲ參酌シテ常ニ實用ヲ主トシ努メテ民力ニ伴ハントナ期スヘシ

特ニ實業學校ニ在リテハ一層實用ヲ旨トシ實地練習ニ要スル工場養蠶室其ノ他各種ノ設備ノ如キモ之ヲ施設スルニ當リテハ豫メ善ク當該地方ニ於ケル實業ノ狀態ヲ斟酌シテ實際ニ適切ナラシメ生徒カ卒業ノ後ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ得ヘキ範圍内ニ於テ成ルヘク其ノ施設ヲ簡易ニシ應用ヲ適實ニシテニ理想上ノ完全ヲ求メテ却テ實用ニ迂遠ナルカ如キ弊害ニ陥ルコトナキヲ要ス實業補習學校等ニ至リテハ出來得ル限り新ニ經費ヲ要ル施設ヲ辟ケ専ラ現存セル各學校ノ設備ヲ利用スル等最モ簡易ナル方法ニ依リテ教育ノ普及發展ニ努ムヘシ

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事 川上親晴

○告 示

○和歌山縣告示第三百六號

左記ノ種牡牛ハ其ノ使用ヲ廢シタリ

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事

川上親晴

廢種牡牛使用 年月日	種類	年齢	毛色	高サ	所有者住所氏名
明治四十二年九月二十五日	ホルスターイソ雜種	明治三十九年十二月生	黑白班	四尺二寸	所有者海草郡宮村 村井佐次郎

○和歌山縣告示第三百七號

左記ノ通定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事

川上親晴

免許年月日 明治四十二年九月二十九日

免許番號 七九六

漁業ノ種類及名稱 釦築頬鰯張網

漁場ノ位置 古座川筋

東牟婁郡三尾川村大字藏土字深ノ川中ニ在ル中岩頂点ヨリ三百五十

四度十九間七分五厘ノ点ト五十七度四十間ノ点トヲ連結セル線内
漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 每年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間

參箇年

條件

一、木石類ヲ以テ支柱ト爲スヘカラズ

一、舟筏ノ通行上障害トナラサル様設備スヘシ

一、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ

一、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

東牟婁郡三尾川村大字藏土

漁業權者代表者 山本宗太郎

免許年月日 明治四十二年九月廿九日

免許番號 七九七

漁業ノ種類及名稱 鉢築類鮎潮張網

漁場ノ位置 古座川筋

十三間ノ点ト百九十三度三十五間ノ点トヲ連結セル線内

漁獲物ノ種類

漁業時期 每年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 參箇年

條件

- 一、本石類ヲ以テ支柱ト爲スヘカラス
- 一、舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備スヘシ
- 一、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ
- 一、漁期修了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

東牟婁郡三尾川村大字洞尾

漁業権者代表者　嶽下和藏

免許年月日　明治四十二年九月廿九日

免許番號　七九八

漁業ノ種類及名稱　鉢築類鉢瀬張網

漁場ノ位置　古座川筋　東牟婁郡三尾川村大字洞尾字犬鳴二ツ石頂点ヨリ七十五度六十五間ノ点ト三十六度八十七間ノ点トヲ連結セル線内

漁獲物ノ種類　鮎

漁業時期　毎年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間　參箇年

條件

- 一、木石類ヲ以テ支柱ト爲スヘカラス
- 一、舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備スヘシ
- 一、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ

一、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

東牟婁郡三尾川村大字洞尾
漁業権者代表者 嵩下和藏

○和歌山縣告示第三百八號

左記ノ通定置漁業ヲ免免許シ漁業原簿ニ登錄ス

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事

川上親晴

晴

免許年月日 明治四十二年九月二十九日

免許番號 七九九

漁業ノ種類及名稱 鉤築類鉛鞘掛

漁場ノ位置 十津川筋 東牟婁郡三里村大字大居字船嶽ト本宮村字上板所トノ境界ヨリ三百五十八度五十間七分五厘ノ点ト二十七度八十間半ノ点トヲ連結セル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 每年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 貳箇年

條件

一、木石類ヲ以テ支柱ト爲スヘカラス

一、舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備スヘシ

一、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ
一、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

東牟婁郡三里村大字大居

漁業権者代表者 平野源之助

免許年月日 明治四十二年九月二十九日

免許番號 八〇〇

漁業ノ種類及名稱 鉄漁類鮎鞘掛

漁場ノ位置 東牟婁郡本宮村字上祓所津呂岩南角ヨリ百四十六度百五十七間ノ点ト百三十八度二百間ノ点トナ連結セル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 每年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 貳箇年

條件

- 一、木石類ヲ支柱ト爲スヘカラス
- 一、舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備スヘシ
- 一、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ
- 一、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

東牟婁郡本宮村

漁業権者代表者 松本権次郎

免許年月日 明治四十二年九月二十九日

免許番號 八〇一

漁業ノ種類及名稱 斧築類鉛梢掛

漁場ノ位置 大塔川筋 東牟婁郡請川村大字耳打字成石大岩南西角ヨリ百七十度三十八間之点ト二百二度四十七間ノ点トヲ連結セル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 每年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 參箇年

條件

一、木石類ヲ以テ支柱ト爲スヘカラス

一、舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備スヘシ

一、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ

一、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

東牟婁郡請川村大字請川

漁業權者代表者 四浦宇吉

免許年月日 明治四十二年九月二十九日

免許番號 八〇二

漁業ノ種類及名稱 斧築類鉛梢掛

漁場ノ位置 十津川筋 東牟婁郡請川村大字請川字柿ト字折付トノ境界大岩中心ヨリ五十九

度八十六間ノ点ト四十六塵百十二間ノ点トナ連結セル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 每年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 貳箇年

條件

一、木石類ヲ以テ支柱ト爲スヘカラズ

一、舟筏ノ通航上障害トナラサル機設備スヘシ

一、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ

一、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

東牟婁郡請川村大字請川

漁業権者代表者 西浦宇吉

免許年月日 明治四十二年九月二十九日

免許番號 八〇三

漁業ノ種類及名稱 鉄築類鮎鞘掛

漁場ノ位置 大塔川筋 東牟婁郡請川村大字請川字柿請川橋北詰橋臺東北角ヨリ八十五度四十間六分七厘ノ点ト六十一度四十四間ノ点トナ連結セル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 每年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 貳箇年

聲科

- 一、木石類ヲ支柱ト爲スヘカフス
- 一、舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備ズヘレ
- 一、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通ズヘシ
- 一、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去ズヘシ

東牟婁郡請川村大字請川

漁業權者代表者 西浦宇吉

○和歌山縣告示第三百九號

兵庫縣加品郡富合村ノ内玉堅村ニ於テ客月二十一日和種牡牛一頭炭疽ニ罹リ翌二十二日斃死セシ
旨通知アリタリ

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事 川上親晴

○和歌山縣告示第三百十號

土地收用法第九條ニ依リ左記ノ通土地ノ測量ヲ爲スコトヲ許可セリ

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事 川上親晴

一、起業者

記

和歌山水力電氣株式會社

一、事業ノ種類

電氣軌道敷設

一、立入ルヘキ土地ノ區域

海草郡紀三井寺村大字紀三井寺、布引、内原、毛見、

同 和歌浦町

同 黒江町大字舟尾

右

○和歌山縣告示第三百十一號

明治四十三年四月入學セシムヘキ東京高等師範學校研究科生徒若干名募集セラル其要項左ノ如レ

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事 川上 親 晴

記

入學ヲ許ス科目 倫理、教育、國語漢文、英語ノ一科目若クハ數科目ヲ研究セントスル者ニ限
ル伊志願者相當ノ員數ニ達セサルトキハ科目ニ依リ開設セサルコトアル

資 私費トス但シ學校長ノ特ニ適當ト認ムル者ニ限リ學資ヲ給與スルコトアル
ルヘシ

學 願書明治四十三年一月二十日マテニ入學願書、履歷書及身體檢查書ヲ添ヘ
地方廳ニ差出スヘシ

志願者資格 （本校本科、專修科、撰科並ニ舊東京師範學校、中學師範學科、初步中學師範
學科）卒業生又ハ帝國大學卒業生及廣島高等師範學校卒業生ニ限ル但シ研
究科目トシテ師範學校、中學校、高等女學校ノ教員免許狀ヲ有セサル學科
目ヲ擇フコトヲ得ス

官職ニ在ル者（所屬長官ノ承認書ヲ入墨願書ニ添付スヘシ）
(備考) 入學ノ上ハ必ス一學年間在學スルヲ要ス

○和歌山縣告示第三百十二號

高知縣ニ係ル市町村立小學校公立實業補習學校教員退隱料及遺族扶助料受領手續左記ノ通改定ノ旨同縣ヨリ通牒有之候付此段告示ス

明治四十二年十月三日

和歌山縣知事 川 上 親 晴

記

高知縣告示第二百五十四號

市町村立小學校公立實業補習學校教員退隱料及遺族扶助料受領手續左ノ通定

明治四十二年八月九日

高知縣知事 石 原 健 三

市町村立小學校公立實業補習學校教員退隱料及遺族扶助料受領手續

第一條 退隱料又ハ扶助料ノ金額ヲ受領セントスルトキハ退隱料証書又ハ扶助料証書ヲ市ニ居住スル者一アリテハ知事ヘ町村ニ居住スル者ニ在リテハ郡長又ハ町村長ニ提示シ検閲ヲ受クヘシ
第二條 町村長ハ前條ノ検閲ヲ請フ者アルトキハ之ヲ検閲シ正當ノ權利者ナルニ於テハ第一號書式ニ依リ郡長ニ報告スヘシ
第三條 程外ニ居住スル者ニシテ退隱料又ハ扶助料ノ金額ヲ受領セントスルトキハ退隱料又ハ扶助料証書ヲ居住地ノ市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ニ提示シ第二號書式ノ請求書ニ受領權ノ證明

チ受ケ知事ニ差出スヘシ

附 則

第四條 本則ハ明治四十二年十月一日ヨリ施行ス

明治三十三年高知縣告示第百十九號ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

(第一號書式)

退隱料(扶助料)檢閱報告

退隱料(扶助料)年額	明治 月	年 額	現住所	元 氏 名 寡婦(孤兒等) (故職 氏 名 姓 氏 名 名)
圓	圓	圓	圓	圓

年 月 日

何 郡 村長 氏 名 印

何 郡 長 氏 名 印
(第二號書式)

一金

請 求 書

市町村立小學校教員(公立實業補習學校教員)退隱料(扶助料)年額何圓ニ對スル何年何月ノ
給額

右請求候

年 月 日

現住所 元職名(故職氏名寡婦(孤兒等))

氏 名

高知縣知事氏名殿

右証書ヲ檢閲シ受領權アルコトヲ證明ス

年 月 日

道府縣郡市町村長(又ハ之ニ準)氏

名

備 者

退職料ヲ受クル者有給ノ公務ニ就キタルトキハ就職年月日退職當時ノ給料額及現時ノ給料額、
新規受領ノ者ハ支給始ノ年月、死去其ノ他ノ事故ニ依リ給額ニ異動アル場合ハ其ノ事由並年
月日ヲ報告書又ハ請求書ニ附記スヘシ

○ 辞 令

○明治四十二年十月一日

和歌山縣仙溪學園教諭師ヲ嘱託ス

年手當拾貳圓給與

和歌山縣立德義中學校教諭心得ヲ命ス

古 河 龍 玉

野 口 卓 爾

月俸參拾五圓給與

和歌山縣土木工手ヲ命ス

五級下俸給與

和歌山縣土木工手ヲ命ス

七級下俸給與

第四工區出張所勤務ヲ命ス

内務部第二課兼務ヲ命ス

内務郡第二課勤務ヲ命ス

第一工區出張所勤務ヲ命ス

第二工區出張所勤務ヲ命ス

第三工區出張所勤務ヲ命ス

第四工區出張所勤務ヲ命ス

第五工區出張所勤務ヲ命ス

第六工區出張所勤務ヲ命ス

第七工區出張所勤務ヲ命ス

第八工區出張所勤務ヲ命ス

八級下俸給與

技手
土木技手
土木技手
土木技手
土木技手
土木技手
土木工手
土木工手
土木工手
土木工手
土木工手
土木工手
土木工手
土木工手
土木工手
松本
川口健次郎
岡崎吉三郎
鷹栖正治郎
松本虎楠
雜賀富三郎
喜知藏
田中良輔
津野清十郎
東市之助

大橋信太郎
水原竹之助
坂本角太郎
明渡定輔
岩田源松

第五工區出張所勤務ヲ命ス
内務部第一課物品取扱主任ヲ免ス
内務部第一課物品取扱主任ヲ命ス

局 鈴木新次郎
岡本良治

○観象

自九月廿八日至九月三十日氣象 (和歌山測候所觀測)

(和歌山測候所觀測)

種目	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六〇耗六	七六〇耗一	七五四耗九	七五八耗八	七五二耗九	七五六耗二	一九度六	一九度六
平均氣溫	一九度六	一九度五	一八度九	一七度五	一〇度七	一九度八	二四度七	二四度五
最高氣溫	二四度七	二四度五	二二度五	二一度五	二五度三	二二度三	一五度〇	一五度二
最低氣溫	一五度〇	一五度二	一七度四	一三度一	一六度一	一七度六	北西	北々東
最多風向	北西	北々東	北東	北東	北西	北西	二米二	一米五
平均風力	四耗九	三耗八	三耗七	二耗六	二耗五	二耗四	晴曠雨	曇
天氣	映ス	晴間及夜間月環チ	晴間及午後降雨午	午後時々小雨風雨	午前降雨全十一時	午前降雨全十一時	午後時々小雨風雨	午後時々小雨風雨
降水量	午後降雨	午後降雨	午後降雨	午後降雨	午後降雨	午後降雨	晴曠雨	晴曠雨
記事現象	吹ク	後十時東方ノ強風	強カルヘクタ刻鮮	下全部ヲ警戒ス	下全部ヲ警戒ス	解除ス		

月二日印行
月三日發行
月三日六日九日十一日十三日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

和歌山市北休賀町六番地
和歌山市北休賀町六地番
印刷所